

公益社団法人日本心理学会研究集会等助成金成果報告書

代表者氏名 (ふりがな)	水田 恵三 (みずた けいぞう)	所属	尚絅学院大学総合人間科学部
研究集会等名称	公益社団法人日本心理学会災害後行動研究会		
成果概要	<p>1) 参加人数 (会員・非会員及び認定心理士の人数を記載してください)</p> <p>会員 9 名 (うち認定心理士 0 名) 非会員 1 名 (うち認定心理士 1名)</p> <p>2) 集会等の目的・成果等 (実施内容・成果・将来計画等を用紙範囲内に記載してください)</p> <p>東日本大震災後の行動を研究する。特に被災者の方が避難所でどのように過ごしたか、仮設住宅で人々はどのように過ごしているであろうか。以上のことを東北地方に在住しているものが、調査を行い、その結果を他地域に居住する研究に発信していく。</p> <p>2011年度は発災直後の避難所の運営の様子を、9月に日本心理学会が日本大学で開催された折に、空き時間を利用して全員が集まり、知識を共有した。その際に、携帯用のプロジェクターが必要であると思い、購入した。</p> <p>今年度中にホームページを作成し、情報を発信する予定であったが、間に合わず、それは来年度の課題となった。</p> <p>来年度は、専修大学で開催される日本心理学会において、メンバーで、「被災者から話を聞く」ことの意義に関するワークショップを開催する予定である。</p>		